

重点施策 1 男女共同参画に関する推進体制の強化

担当部署	委員コメント
教育総務課	・計画、実績、次年度の計画が同一で、具体的に何をするかが不明です。
高齢者福祉課	・「適正な運用」がどのように為されたかが分かりません。
財政課	・運用について、休暇の取得等、具体的な内容が記載されている点を評価します。
消防本部	・女性消防団を育成して活動の幅を広げている点と各行事や研修に積極的に参加している点を評価します。
人事課	・計画、実績ともにほぼ同じ内容で、具体的に何をするかが不明です。 また、計画は「取り組みの制度化」、実績は「各種取り組みを行なった」で、整合性がとれておりません。
中央公民館	・男女共同参画、公民館運営審議会委員の選任については、具体的な目標数値を設定すると実績も評価できると思います。
図書館	・図書館協議会委員に6名の女性委員を選任し、委員全体数に占める女性の割合が60%に達したこと、男女平等の意見を多く取上げている点を評価します。
ひとつくり支援課	・計画、実績、次年度の計画が同一で、具体的に何をするかが不明です。
福祉課	・「適正に業務を遂行した」にも拘らず「C」と、自己評価が低いのはなぜでしょうか。目標数値の記載なしでは、適正な判断ができません。
南河原保育園	・長野・持田保育園と比較して、自己評価に差があります。固定的な性差観を強化することのない保育への取り組みを期待します。

重点施策 2 政策決定過程における男女共同参画の推進

担当部署	委員コメント
学校教育課	・どのように男女の均衡化を図ったのか、次年度報告では具体的な手法も示されるとよいと思います。
環境課	・自己評価は「E」としていますが、目標に対する率直な評価と次年度の計画に可能性と意欲が伺える点を評価します。
企画政策課	・どのような視点で、どのように募集し、どのような結果を得て、自己評価「A」となったかが不明です。
下水道課	・下水道事業運営審議会委員の100%公募制の導入を評価します。
高齢者福祉課	・各委員の女性登用率が40%に達しています。自己評価はもっと高くてもよいのではないのでしょうか。
埼玉公民館	・男女ともに参加できる講座に多く取り組み、男女共同参画への意識を高めている点を評価します。
人事課	・あらゆる職場に女性を登用し人事異動に配慮することは、重要な施策であり評価します。ただし、女性職員の研修機会の充実に特化した具体的な方策が検討されていない点について、更に努力を期待します。
須加公民館	・地域の文化祭や各種事業において、男女共同参画の推進が積極的に行われていることを評価します。
都市計画課	・パブリックコメントの導入・実施を評価します。

ひとつくり支援課	・社会教育委員の女性登用率は3割弱ですが、他所属機関の委員と比べると高評価に値すると思います。
全般	・女性委員の登用については、一部を除いて数値目標がないために各課において評価にばらつきが出ています。

重点施策 3 市民との連携による男女共同参画の推進

担当部署	委員コメント
VIVAぎょうだ	・計画に対して、成果が上がっています。 ・各種リーダーステップアップ講座、支援に携わる者としてニーズにあったテーマ選びや、新たな女性団体・グループ作りのきっかけとなる講座を積極的に企画・開催している点を評価します。
企画政策課	・検討した結果が判りません。
広報広聴課	・外国人向けの英語表記の行田市政要覧作成や各種パンフレットを関係機関と連携して配布した点を評価します。
商工観光課	・外国人向けの英語表記の行田市政要覧作成や各種パンフレットを関係機関と連携して配布した点を評価します。
地域づくり支援課	・役員改選にあたり女性の登用を依頼するという計画内容が適切で、具体的に実績が記述されている点を評価します。自治会長、地区コミュニティ協議会役員の女性登用は、まだかなり低いため、更なる工夫や積極的な働きかけが必要と感じます。 ・国際交流の推進については、試行錯誤と努力が伺えますが効果が見られないようです。
公民館・各課	・実績欄に実施した人数やパンフレット配布箇所、枚数の記載が無いため評価があいまいになっています。

重点施策 4 男女の仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)

担当部署	委員コメント
VIVAぎょうだ	・育児休業制度や介護休業制度の普及と利用促進に向けて、積極的な啓発活動を行っている点を評価します。
子育て支援課	・ワーク・ライフ・バランスに関する講座等の充実に関する工夫点、改善点などに関する記載がありません。
人事課	・水曜日をノー残業デーとしたのに、実績がゼロは問題です。仕事が多いのか、習慣化か、管理者の意識が無いのか、分析が必要と考えます。 ・ワーク・ライフ・バランスの推進に向けて情報提供と制度の普及を計画していますが、実績なしで自己評価も「E」とありました。それにもかかわらず、次年度も同一の計画となっており実現性がわかりません。率先して啓発活動を推進して欲しいと考えます。
保健センター	15～39歳を対象にヤング健診、特定健診の周知徹底と健診後の保健指導等を充実させ継続して実施している点を評価します。

重点施策 5 経済社会における男女共同参画の推進(雇用機会均等)

担当部署	委員コメント
VIVAぎょうだ	・具体的な目標を挙げ、具体的な実績を表示しています。また、次年度計画が更に高い目標を挙げており進歩していることが判ります。 ・「女性のための再就職セミナー」では、受講者から具体的な反応・感想が聞かれたことを評価します。
商工観光課	・女性の活躍のため経済の活性化に向けて、女性起業家に対し助成を行っている点を評価します。 ・パンフレット・ポスターの配布・貼付をおこなったことを理由とした「A」が多いように思います。同じ報告が多く、全てがAになっていることは疑問です。 ・実績内容に具体的な工夫点等の記載がありません(他にも記載の無い課がありますが、担当する事業が多いので、商工観光課についてコメントしました)。
人事課	・職員メンタルヘルス研修会を年4回実施、職員健康相談を年24回実施し、心の健康の保持増進のために努力している点を評価します。
農業委員会	・自己評価は「E」ですが、具体的な計画を挙げ、実績はないものの施策の継続性が感じられ、判り易い点を評価します。
保健センター	・企画したテーマに工夫が見られます。また、リーフレットを配布したり、相談に随時対応している点を評価します。
各課	・重点施策でなく、恒常業務と思われる事業も記載してあるので、報告のための「作文」となっている部分もあると感じます。必要な施策に絞っての提出が望ましいと考えます。

重点施策 6 子育てしやすい環境の整備・充実

担当部署	委員コメント
VIVAぎょうだ	・自己評価「E」としていますが、実績なしの理由が記載されていません。
子育て支援課	・家庭における児童に関わる相談体制が整っている。重要な事業であり、成果の記載もあるので評価します。 ・男女平等に働くための支援として、保育サービスの充実を積極的に進めて欲しいところです。その様子が延長保育のみの報告で見えてこない点は評価できません。 ・計画にある「一般型7箇所」とは、どのようなものか概略の説明を付加してください。
人事課	・男性職員の育児休業制度取得については、対象者がいるのに取り辛い環境となっていないか、取得すると昇進に影響するなどの意識がないかを検証し、人事課が中心となって説明会の開催等対策を行うことが必要ではないでしょうか。 ・啓発ハンドブックに男性職員向けを作るなどの具体的な改善方法を記載すべきと考えます。
保健センター	・実績が数値表示(結果)してください。ママパパ教室の開催を土・日に実施すると評価できると思います。

重点施策 7 男女共同参画の視点に立った防災・防犯体制の推進

担当部署	
VIVAぎょうだ	・災害・防災等のリーダーステップアップ講座を実施した点を評価します。今後も継続が必要であると思います。
福祉課	・ささえあいマップの作成・更新については、自主防災組織のある自治会・民生委員のかかわりの積極性、自治会役員のリーダーシップにより差が大きい。庁内の連携が持たれていないと進まないのので、社会福祉協議会、防災安全課、福祉課が一体となって進める必要があります。

防災安全課	・防犯推進委員289人のうち、女性は4人は少なすぎます。男女共同参画の推進に向け、更なる増加に努力して下さい。 ・自治会女性部連絡会等、地域防災会議の中でも女性の活躍する場を増やしている点を評価します。 ・地域の女性達が情報を多く持っているので、今後も女性達が多く参加できるように工夫してください。
-------	---

重点施策 8 生活上の困難に直面しやすい人々が暮らしやすい環境の整備

担当部署	
VIVAぎょうだ	・具体的に実績が記載され、次年度計画も明確であるため評価します。
高齢者福祉課	・プラン目標の「計画に基づき検討」に対し、回答が「施設整備の予定なし」となっていますが、もとの目標の見直しを検討してください。
子育て支援課	・実績が具体的に記載があるものの、その評価が「C」となった理由が判りません。
市民課	・外国語のパンフレットや外国語が堪能な職員の配置等、外国人に対するサービスの充実を高く評価します。
人権推進課	・相談を随時受け付け、男女の人権擁護委員で対応している点を評価します。
保険年金課	・重要な施策の実施を評価します。

重点施策 9 生涯を通じた健康づくりへの支援

担当部署	委員コメント
学校教育課	・計画と実績がほぼ同じで、具体的な記述がありません。
スポーツ振興課	・各種スポーツ教室の開催を継続実施している点を評価しますが、H26年度とH27年度の計画が全く同じで、努力が見られないのが非常に残念です。
保健センター	・がん検診に対する勧奨通知、市民けんこう大学・大学院の開講、妊娠・出産・育児に関する各種専門相談と相談体制の整備・充実に力を入れている点について、重要な施策であり、具体的な計画と実績が記載されていることを評価します。
保健年金課	・子供が必要とする医療を容易に受けられるように、子供の保健向上と福祉の増進を図っている点を評価します。

重点施策 10 暴力のない社会づくりの推進

担当部署	委員コメント
VIVAぎょうだ	・具体的に計画が記載され、具体的に実績が記載されている点を評価します。
学校教育課	・各校とも、男女平等、人権尊重に基づく視点に立った教育活動に適切に取り組んでいる点を評価します。 ・具体的な啓発活動についての記載がありません。
子育て支援課	・重要な施策であり、具体的な実績の記載があるため評価できます。虐待リスクの高い家庭の早期発見がまだ難しい状況にあるため、自治会等、住民連携による防止対策と啓発方法に工夫が必要と考えます。
長野保育園	具体的な結果報告は分かりませんが、職員による「暴力・虐待の未然防止対策」の第一歩に期待し、評価します。

重点施策 11 DV被害者の安全確保と支援体制の充実

担当部署	委員コメント
高齢者福祉課	・H26年度とH27年度の計画が同じで努力がみられません。
子育て支援課	・計画に対する実績の記載があり、自己評価「C」でありながら、次年度計画が同一となっています。問題点の把握と次へのステップアップに何が必要かを考えてください。
人権推進課	・人権擁護委員による啓発活動、人権相談11回開設、地区別研修会のビデオ上映や講演会等、年間を通して行っている事業について評価します。
福祉課	・新たに3事業所と協定を締結し、地域安心ネットワーク会議を開催している点を評価します。 ・計画に対する実績の記載があり、自己評価「C」でありながら、次年度計画が同一ですが、見直す必要があるのではないのでしょうか。 ・H26年度と27年度の計画が同じで、自己評価が「C」⇒「A」となっている理由が不明であり、評価基準がはっきりしていません。
保健センター	・個別記録にて管理という具体的な記載あり、重要事業のため評価します。

重点施策 12 セクシャル・ハラスメント防止対策

担当部署	委員コメント
VIVAぎょうだ	・自己評価「E」であるが、未実施となった理由を記載してください。
学校教育課	・学校教育において人権教育は重要事業であり、継続的な実施を評価するとともに、今後も期待します。
人権推進課	・啓発活動を街頭（浮き城祭り、酉の市）で継続実施している点を評価します。
人事課	・セクシャルハラスメントは、近年増加しています。管理監督者向けの研修などを継続的に計画・実施するべきです。 ・自己評価「E」ですが、何故未実施となったのか理由も記載し、次年度の計画につなげてください。

重点施策 13 関連機関との連携の推進

担当部署	委員コメント
VIVAぎょうだ	・庁内DV対策連携会議を定期的開催する等、DVに対して組織内連携体制の充実が伺える点を評価します。殆どが、VIVAぎょうだの事業であり、評価は「A」とし、継続・推進をお願いしたい。
子育て支援課	・庁内連携において、重要な事業であるため評価します。
長野保育園	・一日保育体験実施に対し、努力しており「参加してよかった」との回答90%を評価します。
南河原保育園	・39家庭中28家庭で参加率が高く、男性の意識が低いといった実態把握をされていることを評価します。アンケートを用いたりして、今後も男性の参加を増やしてください。
福祉課	・職場内研修が未実施との回答ですが、何らかの改善が必要です。計画通り実施して欲しいと思います。

重点施策 14 性別による固定的な役割分担意識の解消

担当部署	
------	--

学校教育課	・実績及びH27年度計画の記載内容が適切です。男女共同参画の視点を取り入れた授業を行っている点を評価します。
広報広聴課	・広報計画の中に、男女共同参画に関する広報を位置づけるなど、自主的な姿勢が必要です。
人事課	・男性職員の育児休業取得率は0%です。各所属長にも積極的に働きかけ、制度利用を促進してください。

重点施策 15 男女平等教育の推進

担当部署	委員コメント
VIVAぎょうだ	・センター内の図書やビデオ等の貸出実績が少ない。利用促進を図られたい。
各公民館	・地域公民館を利用した講座や学級は、数多く開催されていて、活発な活動は高く評価できます。しかし、市民の参加は一部に偏っており、公民館へ足を運んだことのない人もいますので、自治会や各種団体へPRし更なる地域貢献を期待します。
学校教育課	・人権教育の全体計画、年間指導計画の見直しを毎年各学校毎に行えるようにしており、常に男女平等の視点に立った教育活動を行っている点を評価します。生活技術が男女ともに向上するように指導しているのに努力がみられます。 ・中学校における進路指導、社会体験チャレンジ等、性別にとらわれない職業観を指導している点を評価します。 ・継続的に実施しているものと思われませんが、計画・実績・H27計画の記述内容が同じです。次年度計画には、新たな視点の追加を期待します。